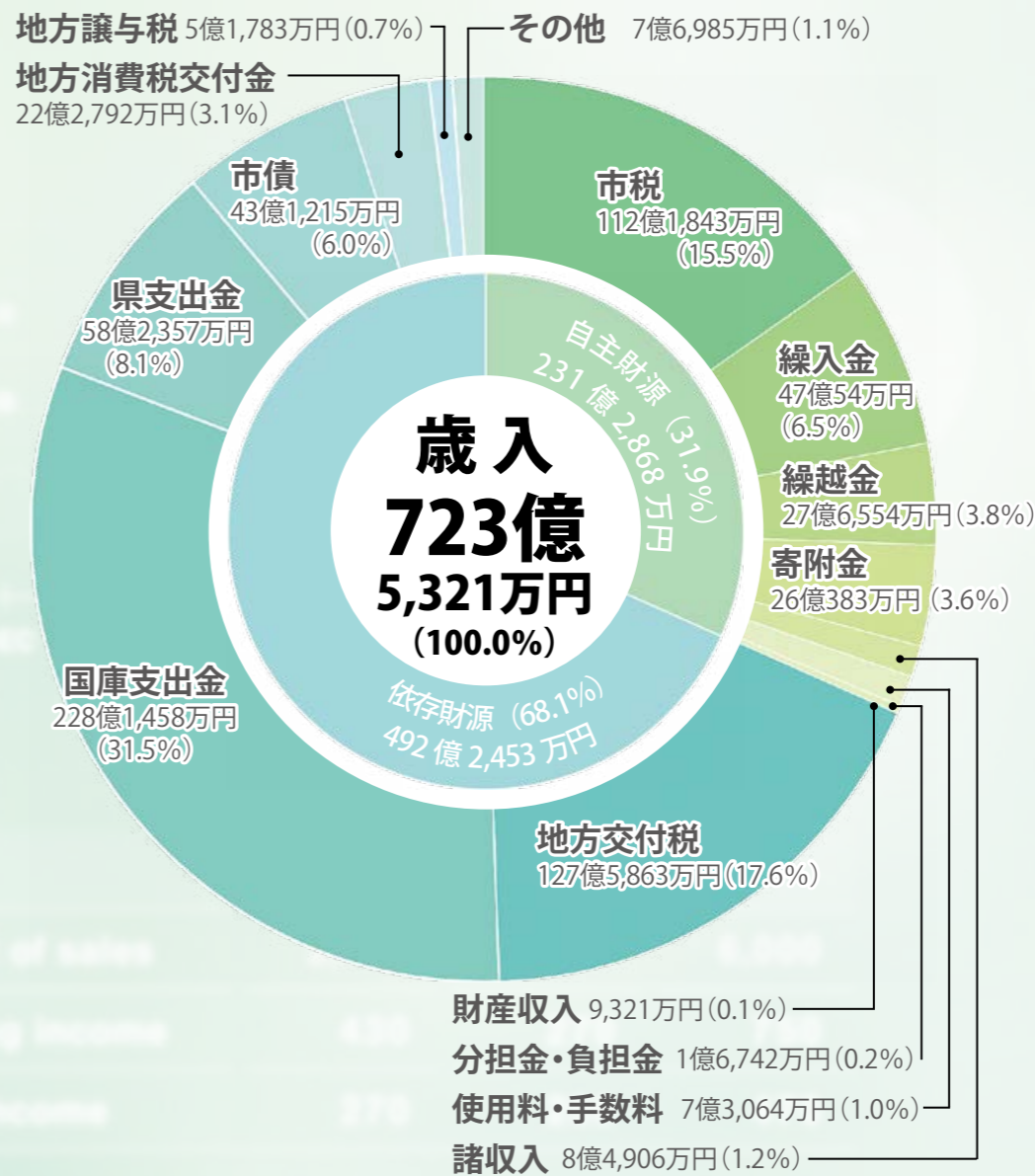


決算

令和2年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会12月定例会で承認されました。皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などが、どのように使われたのかをお知らせします。

問 市財政課 TEL 0994-311126



歳入の説明

- 市税** 市に納められた市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税、入湯税の総称
(内訳) ○市民税＝46億8,365万円
○固定資産税＝49億5,375万円
○軽自動車税＝4億3,076万円
○たばこ税＝6億8,864万円
○都市計画税＝4億6,154万円
○入湯税＝9万円
- 緑入金** 事業の目的に沿って積み立てておいた基金の取り崩しなど
(内訳) ○財政調整基金＝15億1,994万円
○ふるさと鹿屋応援基金＝21億4,220万円
○農業振興基金＝5億4,752万円 など
- 地方交付税** 地域によって地方税の収入額に差があることから、地方間の財政力の不均衡を是正し、必要な財源を保障するために国から交付される資金
(内訳) ○普通交付税＝114億7,513万円
○特別交付税＝12億8,350万円
- 国庫支出金** 国からの補助金や負担金 など
- 県支出金** 県からの補助金や負担金 など
- 市債** 市が建設事業や災害復旧事業などを行う際の借入金

02 一般会計歳出

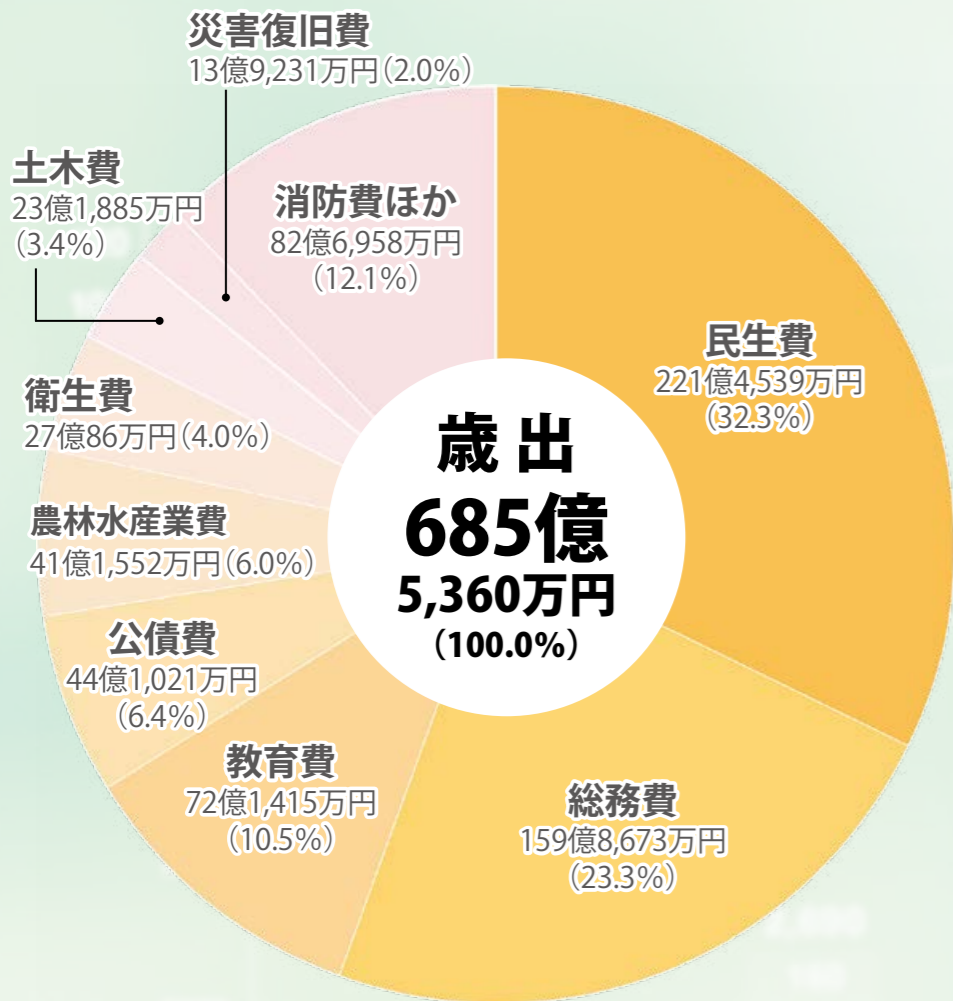
歳出は、新型コロナウイルス感染拡大への対応として、特別定額給付金や子育て応援給付金等による市民生活支援、中小企業等事業継続支援金事業等による事業者支援、新しい生活様式対応促進事業等による感染防止対策などの事業を実施しました。

また、安全で快適な学校環境の充実を図るため小中学校の空調整備や北部学校給食センターの建設、国の「GIGAスクール構想」の実現に向けた、小中学校のネットワーク環境整備や児童生徒1人1台のタブレット端末の導入を行いました。

さらに、7月豪雨により被害を受けた被災者の生活支援や、道路・農業施設等の早期復旧を図るための災害復旧事業などの実施により、決算額は前年に比べ増加しています。

一般会計歳出決算の性質別内訳

区分	決算額	構成比
義務的経費	人件費	67億 673万円 9.8%
	扶助費	150億 5,940万円 22.0%
	公債費	44億 1,021万円 6.4%
	小計	261億 7,634万円 38.2%
投資的経費	普通建設事業費	66億 9,841万円 9.8%
	災害復旧事業費	14億 2,674万円 2.1%
	小計	81億 2,515万円 11.9%
その他経費	物件費	75億 8,921万円 11.1%
	維持補修費	2億 7,221万円 0.4%
	補助費等	176億 157万円 25.7%
	積立金	40億 7,128万円 5.9%
	貸付金	1,616万円 0.0%
	繰出金	47億 168万円 6.8%
小計	342億 5,211万円 49.9%	
合計	685億 5,360万円	100.0%



歳出の説明

- 民生費** 高齢者・障がい者・児童福祉、医療、保育費などの経費
○自立支援給付事業 ○幼稚園・保育所等給付費
○児童手当費 ○児童扶養手当費 など
- 総務費** 地域振興などの経費
○特別定額給付金事業 ○ふるさとPR促進事業
○町内会関係経費 ○総合交通対策事業 など
- 教育費** 学校施設の維持管理等や学校教育・生涯学習などの経費
○小中学校施設整備事業
○鹿屋女子高等学校施設整備事業
○北部学校給食センター整備事業 など
- 公債費** 過去の借入金の返済に係る経費
- 農林水産業費** 農道整備や農林水産業振興などの経費
○国営畑地かんがい事業 ○漁業付加価値向上対策事業
○畜産クラスター事業 ○がんばる畑作応援事業 など
- 衛生費** 保健衛生やごみ処理などの経費
○予防接種事業 ○妊産婦乳幼児健康診査事業
○小型合併処理浄化槽設置整備事業 など
- 土木費** 道路や公営住宅などの管理・整備に係る経費
○道路整備事業 ○排水路整備事業
○住宅維持修繕事業
○公園維持管理・整備経費 など
- 災害復旧費** 台風等の災害により被災した施設の復旧などに係る経費
○道路・橋りょう・河川等災害復旧事業
○農地・農業用施設等災害復旧事業 など
- 消防費ほか** 消防、商工業振興、議会運営、基金積立などの経費
○消防組合負担金 ○消防団経費
○企業誘致・サポート推進事業 など